

研修視察報告（青森市・むつ市） ～木野部海岸～

戸 田 邦 市

5月8日青森県むつ市の「木野部海岸」を視察しました。この海岸は下北半島の中央部に位置し、一度造った護岸を撤去して、自然石の投入により磯を造るという前代未聞の工事が実施されました。これにより2006年に土木学会デザイン賞・最優秀賞を受賞しています。

ここで注目されるのは、一旦、国によって採択された事業を、住民の意見を取り入れた先進的な事業方針に転換させたことです。国の考えを改めさせるため、関係者との話し合いを何度も重ね、紆余曲折の末、ようやく実施にこぎつけました。

自然石の投入の効果は、消波や沿岸流の速度を抑え海岸侵食を防止し、あわせて磯としての機能を持たせ、サザエやアワビ、魚類などの生息場になって



います。撤去した護岸も海面の下に投入し、海岸の侵食を防ぎ養浜するという機能を保障しているそうです。

自然がもどり海産物が獲れ、地域住民の憩いの場もできて観光客も増え、いいことづくめと思いきや、近頃では漁業権、トイレ、ゴミ等の新たな問題も発生しているようです。

今回の視察で感じたことは、市職員が住民との話し合いによって昔の風景を取り戻そうとし、国や県と粘り強く交渉して、事業方針を転換させたことです。職員の情熱と弛まぬ努力がなければ成功しなかったと思いました。